



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 容造  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 小田島 淳悦 (TEL) 03-3603-1149  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	11,445	0.9	143	△68.1	209	△56.1	123	△60.3
29年12月期第1四半期	11,341	△1.1	449	45.3	477	40.4	311	△2.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 △423百万円(—%) 29年12月期第1四半期 334百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	12.00	—
29年12月期第1四半期	30.25	—

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	52,516	24,462	46.5
29年12月期	53,862	25,298	46.9

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 24,440百万円 29年12月期 25,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	40.00	40.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,100	0.0	640	△21.8	700	△23.6	470	△25.4	45.64
通期	46,300	0.0	1,280	13.5	1,370	2.7	880	11.0	85.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期1Q	10,306,895株	29年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	9,646株	29年12月期	9,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期1Q	10,297,249株	29年12月期1Q	10,297,666株

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）における我が国経済は、企業収益の改善と雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の先行きが懸念され、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましては、市場の成熟化による需要の伸び悩みと生活必需品に対する節約志向や低価格志向が継続しており、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、既存製品の品質向上と市場ニーズに即応した高付加価値製品の開発に努めるとともに、新たな市場開拓と用途開拓に取り組みました。また、品質管理体制の強化に取り組む一方で、生産体制の効率化等のコスト削減を推し進めましたが、各種原材料価格の高騰の影響を大きく受けることとなりました。

この結果、売上高は114億4千5百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1億4千3百万円（前年同期比68.1%減）、経常利益は2億9百万円（前年同期比56.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千3百万円（前年同期比60.3%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① 食品事業

食品事業につきましては、製パン業界、製菓業界、即席麺業界等の主要販売先に対する需要が伸び悩むなか、主力のマーガリンおよびショートニングの拡販に努めるとともに、食品全般の健康志向の流れを受け、これらの製品の機能性を活かせる場面の創出に努めました。

その結果、売上高は76億9千6百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益につきましては、各種原材料価格の急騰等により、販売価格の改定および生産体制の効率化等のコスト削減を行い、収益確保に取り組みましたが、1千7百万円（前年同期比94.5%減）となりました。

#### ② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、合成樹脂、界面活性剤、塗料、ゴム、トイレタリー、潤滑油等の業界において脂肪酸およびグリセリンの需要が堅調に推移しました。

界面活性剤関連製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤が、製紙メーカーでの増産に伴い伸長しました。また、化粧品分野の化粧品用クレンジング基剤および環境改善分野の飛灰用重金属処理剤も、需要の増加により販売は順調に推移しました。

その結果、売上高は37億1千6百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益につきましては、グリセリン等の原料価格の高騰により、1億9百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億4千5百万円減の525億1千6百万円となりました。主な減少は現金及び預金8億6千6百万円、受取手形及び売掛金6億5千2百万円、投資有価証券7億5千6百万円であり、主な増加は仕掛品2億2千万円、原材料及び貯蔵品6億4千9百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億1千万円減の280億5千3百万円となりました。主な減少は借入金4億1千3百万円、未払法人税等1億9千4百万円、流動負債のその他2億6千4百万円、退職給付に係る負債1億7千万円、固定負債のその他1億7千6百万円であり、主な増加は支払手形及び買掛金6億4千2百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億3千5百万円減の244億6千2百万円となりました。主な減少は利益剰余金2億8千8百万円、その他有価証券評価差額金5億2千5百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の46.9%から46.5%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,846	3,979
受取手形及び売掛金	12,600	11,947
電子記録債権	1,333	1,527
商品及び製品	2,401	2,392
仕掛品	460	681
原材料及び貯蔵品	2,453	3,103
その他	217	290
貸倒引当金	△16	△22
流動資産合計	24,297	23,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,607	4,554
機械装置及び運搬具(純額)	5,166	5,022
土地	5,325	5,325
その他(純額)	446	436
有形固定資産合計	15,545	15,338
無形固定資産		
その他	276	272
無形固定資産合計	276	272
投資その他の資産		
投資有価証券	10,751	9,995
退職給付に係る資産	2,814	2,832
その他	207	209
貸倒引当金	△30	△31
投資その他の資産合計	13,742	13,005
固定資産合計	29,564	28,617
資産合計	53,862	52,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,596	10,238
電子記録債務	904	995
短期借入金	3,155	3,065
1年内返済予定の長期借入金	879	646
未払法人税等	236	41
その他の引当金	8	23
その他	2,448	2,184
流動負債合計	17,227	17,195
固定負債		
長期借入金	6,210	6,119
退職給付に係る負債	2,342	2,172
役員退職慰労引当金	130	89
厚生年金基金解散損失引当金	532	532
その他	2,120	1,944
固定負債合計	11,336	10,858
負債合計	28,563	28,053
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	5,821	5,533
自己株式	△24	△24
株主資本合計	20,304	20,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,091	3,565
退職給付に係る調整累計額	880	858
その他の包括利益累計額合計	4,971	4,424
非支配株主持分	22	22
純資産合計	25,298	24,462
負債純資産合計	53,862	52,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	11,341	11,445
売上原価	9,406	9,757
売上総利益	1,935	1,688
販売費及び一般管理費	1,485	1,545
営業利益	449	143
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	36
持分法による投資利益	14	14
その他	18	47
営業外収益合計	60	99
営業外費用		
支払利息	28	27
その他	5	5
営業外費用合計	33	33
経常利益	477	209
特別損失		
有形固定資産除却損	24	27
特別損失合計	24	27
税金等調整前四半期純利益	452	182
法人税、住民税及び事業税	19	3
法人税等調整額	120	55
法人税等合計	140	59
四半期純利益	312	123
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	123

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	312	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△525
退職給付に係る調整額	△18	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	22	△547
四半期包括利益	334	△423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	△423
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,849	3,457	11,307	34	11,341	—	11,341
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	43	35	79	△79	—
計	7,893	3,457	11,351	70	11,421	△79	11,341
セグメント利益	312	123	435	14	449	—	449

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,696	3,716	11,413	32	11,445	—	11,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	—	44	36	80	△80	—
計	7,741	3,716	11,457	68	11,526	△80	11,445
セグメント利益	17	109	126	17	143	—	143

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。